



第4回(令和6年2月)定例会で扱った内容のご紹介

『こども家庭センター』4月開設

「全ての妊産婦・子育て世帯・子どもに一体的な相談支援をする機関」を保健センター内に開設。これまでは妊産婦や乳幼児の保護者相談を受ける「子育て世代包括支援センター」と、虐待や貧困などの問題を抱えた家庭に対応する「子ども家庭総合支援拠点」が併存していました。一体化により更なる状況共有・連携を図ります。



『沼津駅南口まちなか実践広場』

沼津駅南口のUR都市機構が保有する土地(ラブライブ!サンシャイン!!の公式カフェの場所)に、広場と施設(店舗・交流スペース等)を整備。広場は市が賃借して整備管理。施設は民設民営で整備運営する事業者をUR都市機構が公募します。中心市街地のまちづくりを進めていく上での暫定的な利活用です。



带状疱疹ワクチン接種費助成

発症率減少と重症化予防を図るため、50歳以上の市民を対象にワクチン接種費を助成。助成回数は1人1度限り。助成額は1回のみ接種の生ワクチンは4,000円、2回接種が必要な不活化ワクチンは合計2万円。4月より募集開始です。



まちづくり活動を支援

地域活性化や住民の生活向上に役立つ活動を支援する「民間まちづくり活動支援事業」を行います。若い世代の参画を促す考えから学生枠(補助率：100%、交付上限額：10万円)も設置。受付は4/30(火)までです。



首都圏のIT企業向けツアー

地域産業の活性化や雇用機会の拡大を目的とした視察ツアーです。市内に複数あるIT分野を専門とする教育機関への訪問など、就労環境や生活環境に優れていることをPRし、近年の成長産業であるIT企業などの沼津市進出を促進していきます。



大学内での就職説明会

企業が大学を訪問し、企業の特長・仕事内容・社内の雰囲気などを説明する会。市内企業より多数寄せられている「新卒者を採用する上での、積極的な採用活動の機会を増やしてほしい」といった要望を受けての実施。県内外の大学と調整中です。



『こども誰でも通園制度』の試行

親が働いていなくても子どもを預けられる制度を支援センターぽっぽ(駅南の沼津産業ビル4F)で試行実施。主な対象は保育園や幼稚園に通園していない生後6か月～3歳未満の子ども。1か月あたり10時間、1回の利用につき5時間が上限で1時間300円。事前に「こども未来創造課(055-934-4842)」での利用券交付が必要。定員6名で4月募集開始。



放課後児童クラブ

2025年より専門事業者に移行

放課後や長期休暇中などに、働く保護者の代わりに子どもたちと過ごし・見守る場所である放課後児童クラブについて、サービス向上や多様なニーズに対応するため、運営を専門事業者に移行。2024年5～7月に事業者を選定、翌年4月に運営開始の予定。



消防団詰所に女性用トイレ設置

女性消防団員が活動する環境整備の一環として、第1分団(第五地区)と第24分団(金岡地区)の消防団詰所に女性用トイレを設置します。本件は、地元連合自治会と要望活動を続けていた案件でした。



中学校部活動の地域移行に向けた取組について

「子どもが希望する活動を地域総がかりで維持・充実する」ための活動イメージやスケジュールが『沼津市部活動地域移行取組方針(案) -新たな地域クラブ活動「ヌマカツ」の推進-』で示されましたのでご紹介します。

活動イメージ	平日	休日
競技志向	民間(地域)クラブ ← 同一種目 →	民間(地域)クラブ ← 同一種目 →
生涯志向 (エンジョイ)	← 同一種目 複数種目 →	← 同一種目 複数種目 →
	地域クラブ・協会・団体 (通学学校単位)	協会・団体・地域クラブ (エリア(合同)・セントラル)
	← 同一種目 →	← 同一種目 →

休日活動から段階的に地域移行を進める計画で、地域移行(学校部活動の廃止)の目標年度は、休日活動が2028年度の夏、平日活動が2031年度の夏です。

生涯志向でのシーズンや曜日を分けた「複数種目」活動を推進し、スポーツ活動と文化芸術活動の掛け持ちも可能としています。



ぬまづ
昔ばなし

部活動改革については、10年ほど前より複数校による合同部活や総合型地域スポーツクラブとの連携などに取り組んできました。教職員の働き方改革の関係から国の方向性が定まったことで、実現に向けて動き出しそうです。ぬまづ昔ばなし 第7巻「おみねと島吉(内浦地区)」は3月25日発刊です。

